



関中央ロータリークラブ

2018-2019 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：関市池尻 91-2
事務局：関市西本郷通 5-2-53 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 波多野篤志 副会長 古田博文 幹事 吉田和也 クラブ会報委員長 塚原康寿

2018~2019年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ
「自ら行動するロータリーへ！」



インスピレーションになるう

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1977回例会 2019年6月2日(日)「長良川環境保全例会」
集合場所・時間 小瀬鮎の瀬橋上流右岸 午前9時 / 担当 環境保全・社会奉仕・IA委員会

前例会の記録 第1976回 2019年5月30日(木)
卓話 岐阜新聞 中濃総局長 長瀬 勝巳様
テーマ 「新聞よもやま話」
担当 社会奉仕委員会

*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

*お客様の紹介

岐阜新聞 中濃総局長 長瀬 勝巳様
新入会員候補 北原 慎様

*会長あいさつ 波多野篤志会長

皆さんこんばんは。本日のお客様は、岐阜新聞中濃総局長 長瀬 勝巳様で、「新聞よもやま話」のテーマで卓話をして頂きます。新入会員 北原 慎君です。本日は、見学に来て頂きました。来月の入会予定ですのでよろしくお願い致します。



本日は、先日5月25日に、次期会員増強研修セミナーが、岐阜グランドホテルにて行われましたので、ご報告したいと思います。当日は、10時30分受付の

11時より会員増強部門委員長の山本和央さんの点鐘にて開会しました。国歌・ロータリーソング斉唱、特別出席者紹介、木村静之ガバナーと辻正敏ガバナーエレクトの挨拶と当日の説明がありました。その後、特別講演として、2018年度RI第1・2・3ゾーン地域別会員増強計画プロジェクトリーダー 水野功さんの「ロータリーを楽しみ、クラブ基盤を強化しましょう」のお話を頂きました。2750地区多摩南グループの東京飛火野ロータリークラブのチャーターメンバーです。国際ロータリー第2750地区は、東京の南半分とパンフィックベイスングループ(グアム、サイパン、パラオ、チュウク、ポンペイ)が地区の範囲として設定されています。国内90クラブ、海外9クラブの99クラブで構成されています。PETSも公式訪問もグアムで行われる、大変多様性にとんだ地区だそうです。又、10年に1回はグアムで地区大会が行われるそうです。日本にこんな地域があるんだとびっくりしました。

ロータリーのビジョン声明が、2017年6月にRI理事会と管理委員会で承認されました。再確認のた

めに読み上げますと、

・私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。

戦略計画の優先項目が3つから4つに増えました。

- ・より大きなインパクトをもたらす。
- ・参加者の基盤を広げる。
- ・参加者の積極的なかわりを促す。
- ・適応力を高める。

です。

日本チーム (RI 理事や地区ガバナーなど) の方針

- ・会員増強目標については、5年以内に105千人にする
- ・女性会員比率は日本では未だに6~7%、世界は20%以上、5年以内に15%以上に
- ・若い会員の増強については、2016年規定審議会にて導入された柔軟性、クラブの自由裁量権の拡大を最大限に活用し時代に即したクラブ運営
- ・増強以上に重要な会員維持について、地区-クラブでの入会前後の教育-セミナーを推奨する

アンケート調査 (2017-2018年度ロータリー100周年の結果から見えてきたこと

クラブの直面している課題

- ・会員の高齢化、会員の減少、例会運営に苦慮、研修不足から来る会員間の意識の開き、女性会員に対する根強いアレルギーが有るそうです。

運営上の課題

- ・ロータリーライフを楽しめていない、多様性-ネットワークの拡がりを十分に感じ取れない、リーダーシップ不在-問題意識は高い、研修不足-地区との距離が課題として挙がっている

ロータリーの魅力・続ける理由

- ・ネットワークの拡がりとか、友人-仲間を得ることが出来る。学習-成長の機会。ビジネス-異業種交流につながる。奉仕活動-例会を純粋に楽しむ。

RIが目指すクラブとは、

- ・活発なクラブ~例会出席より奉仕活動重視
- ・より大きな注目と影響 (公共イメージの向上) ~ロータリーデー (地域社会の人びとに、楽しみな

がら情報を学んでもらうイベントをもよおし、ロータリーを紹介するという、とてもシンプルなもの。) の復活でイメージ向上をしたい。

- ・より大きな活動成果 (より大きなプロジェクト) を推奨して試行したい。

日本の現状と課題

- ・固定化した例会運営。例会のあり方、時間や食事などの再検討。まぎれもない奉仕団体化。単年度制の弊害があげられます。
- ・若い世代の取り組みと低い女性会員の比率
- ・情報の活用

情報をクラブ内外にどのように発信するか地区からRIから溢れる情報をどう伝えるか。FBなどSNSをどう活用するかが大切になる。

地区とクラブの乖離、研修や入会前後の教育が大事。これからどうしていくか?

クラブ戦略計画の徹底~クラブのビジョン作り~地域社会においてどのような存在を目指すか。

ロータリーの魅力とは、

ロータリーの魅力は「ロータリーの心と原点」を再確認し、ロータリーの基本に立ち返ることで得られる。

- ・ロータリークラブは知人の集まりではない、友人の集まりです。
- ・サービスの心を大事にしたい。(奉仕・奉(たてまつ)ることではない) 思いやりの心を持って人に対すること・・・結果的に仕事の繁栄、人の和に繋がり、本人も幸福になる。
- ・ロータリーの目的と4つのテストを大事にしたい。当然のことと思われるが、一部にはそういう倫理的なことよりもロータリーの主体は外部活動とする向きも多い
- ・デモクラシー (民主主義) を大事にしたい。ロータリーはピラミッド型の組織ではない。ボトムアップであり、クラブが主体である。
- ・ロータリーの外部活動は、いずれも立派な活動ですが、どんなプログラムも原点に戻り、見直しとスクラップ-アンド-ビルド (効率化) が必要で、肥大化する一方では問題です。ロータリーは政府や国連のユネスコやWHOの代替わりをするもので

はない。

ロータリーの心は、現代において最も必要な心であり、その存在意義は大きいものがあります。そういう思いを共有して一人ひとりがロータリアンの友情を大事にしてクラブライフを楽しみたいと思います。と言われ 閉められました。午前の研修が終わり昼食です。

午後の初めは、石垣智康パストガバナーによる「クラブ活動と会員増強」のお話からです。最近のクラブ会員の分布としては、全クラブ76クラブの内、20名以下のクラブが9クラブ、30名以下のクラブが25クラブ(約1/3)あるそうです。現在会員の平均年齢は、61歳を少し上回るようです。ロータリークラブは、入会への勧誘としては、何を売りにするか？

職業人の誇り、職業奉仕か、真の友人作りか、夢ある奉仕活動か。又、学生時代の友人、趣味や町内会の仲間との違いをしっかりと整理する必要がある。

これからの運営は。

会員満足度の調査とクラブは何を目指すのか？

奉仕活動には、会員の達成感が得られることを行う必要がある。

ロータリーの誇りうるものは何か。

人生を彩る出会いがある

優れた人生の行動指針(4つのテスト)がある

世界を変える人道奉仕の一端を担うことが出来る

最後に、ロータリーの財産は会員です。会員の増強こそ、ロータリアンの最大の奉仕であることを全員で確認するで閉められました。

次に、地区研修委員会委員 伊勢ロータリークラブ河野等さんで、「会員がやめないクラブにするための一考察」のお話です。ロータリーは、世界では評判がいい。特に、ポリオには今までに17億ドルを使ってきた。今年も、1~3億ドルの寄付をする予定だ。世界はそれをきっかけに80億ドル(9000億円~1兆円)を出してくれた。そのような活動を世界に発信し、誘導できるクラブである。また、日本で最も大きな奨学金制度を持った団体であり、インターアクトやローターアクトと言った青少年を育てることを一生懸命やっている団体であることをもっと広く伝え、新会員教育や会員勧誘をすることが大切である。

続きまして、増強に成功しているクラブの事例発表です。3クラブの事例が発表されました。

1. 志摩ロータリークラブ 会長エレクト 田辺紀彦さんです。このクラブは、会員数が48名、その内女性会員が12名(25%)で地区内トップです。どのように女性会員を増やしたかお聞きしました。5周年をきっかけに勧誘してきた。初めは2名の方に入っていた。翌年から毎年1名ずつ入ってもらうように活動した。女性の方が奉仕活動は積極的である。現在奉仕活動をしている方が、自分のしたい活動を具現化するためにロータリーの会員となられた方が多い。女性会員を勧誘するときは、会長、社長を勧誘して断られたときに奥様でお願いをする方法でやってきた。

2. 大垣中ロータリークラブ 会長エレクト 安田智和さんです。このクラブは、会員純増7名達成です。会員増強のために、若い世代が活動しやすいようにした。例会数を減らした(月4回から3回へ)。「会員増強に関しては、会員勧誘と維持そのものを目的とするのではなく、ロータリーとはいったいどんな団体かを理解することから始めなければならない」

3. 津北ロータリークラブ 会長エレクト 乙部公裕さんです。会員増強が優秀なクラブです。今期10人の増強予定で、50周年50人を目標にした。会員全員で、会員増強を図った。強い会長の意思があった。リーダーシップと各会員の協力が大切。その他にもお話が有りましたし、規定審議会のご報告もあります。次回にしたいと思います。次年度のご協力をよろしくお願いします。

*卓話

岐阜新聞

中濃総局長 長瀬 勝巳様

テーマ 「新聞よもやま話」

今日は新聞業界の現状という



ことで話をさせて頂きたいと思います。関市にまいりまして、花火大会の実行委員を務めることになり、ロータリーの皆さんにもお世話になっておりご支援頂いております。今、協賛金のお願いに各企業を回り始めており、そんな中で企業の幹部の方に実際新

聞業界どうなの？と大変答えにくい質問をされることがあり、皆さんご興味があるのかなということで、今日は数字で見て頂こうかと思えます。新聞社の収入は基本的には、「購読料」と「広告出稿」この2つが大きな柱であり、その中で部数について、日本新聞協会のデータがありますので資料を見て頂きたいと思えます。新聞の発行部数と世帯数の推移は、日刊紙はほぼ全て入っておりますので、一番正しい数字ではなかろうか考えます。発行形態別の朝刊単独部数をみると、ピークは2008年頃で、2018年を比べると約3440万部から2018年は約3000万部となっております。10年で約440万部減っており、約12.8%の減少です。その中で、比較的地方紙はやや踏ん張っております。

広告出稿は、電通さんの資料から出した数字ですが、2008年約8300億円から2018年は約4800億円と約42%減っております。発行部数、広告出稿の減少の要因は、若い人が新聞を読まないのが原因の一つ、また高齢者の方がお亡くなりになって減っていく部分もあります。広告出稿のピークは2001年頃で、2018年では半分以下に減っていますが、広告代理店では、2000年頃から若い人は新聞を読まないと結論づけ、10代～20代を対象にした広告は新聞には出稿しないようにシフトし、新聞から離れていきました。広告の価値は部数という部分がありますので、部数が減れば広告の価値が減る、そして出稿も減るという負のスパイラルが続いており、今後もそれが続いていくのではないかと考えております。新聞発行部数のピークは2009年頃となっております、若者の新聞離れと比べると10年弱ずれがあります。人口減が続く中で、これからはそれほどの激しい減り方はないのではないかと考えております。

広告収入というのはアクセス数に比例しますので、活路を見いだせていない状態です。購読料、広告収入に続く第3の収入を作ろうと動いております。映画の制作委員会に参加したり、資金の潤沢な大手は不動産収入などで補っておりますが、地方紙は収入を確保することが難しいため模索が続いております。聞いたところによると、ある新聞社は豆腐を製造したり、居酒屋を出店したりする所もあるそうですが、

成功したという話を聞いた事はありません。岐阜新聞も新規事業を開拓しようとしております。形になったのは系列会社に薬品会社があり、コラボして薬草の入浴剤を作りました。薬草を使ったものなのでとても高価な入浴剤になりまして、一回分450円ぐらいになり、苦戦しているようです。

私としては新聞社の価値のある資産は何かといえどネットワークではなかろうかと思えます。情報というのは価値があると思う中で、岐阜県内にネットワークがあり、記者がそこに住んで、取材活動を代々続けてきた中で岐阜新聞という信頼が形づくってきたのではないかと考えます。ネットワークを大事にして、各地で拾える情報を、紙以外の商品にしていくことができるのかを模索していくことが良いのではないかと考えております。30年程前は関市でも全国紙が拠点を構えて取材活動をしておりましたが、今は中日新聞さんと岐阜新聞のみです。私は関市におりますが、関市の方には新聞の需要が高いと感じており、新聞を非常によく読んで頂く地域だと実感しております。記事のお礼の電話を頂くことが多く、喫茶店に入っても皆さん新聞を読んでいらっしゃいます。他の地域では新聞をおいていない喫茶店も多くなってきていますが、関市は新聞の需要が高い地域だと感じておりますので、厳しい時代に入る中、岐阜新聞を支えて頂きたいと思えます。

若い人がどうしたら新聞を読むのかと考えると、一番効果があるのは企業のトップの方が新聞をとるように勧めて頂くことだと思います。企業人としても世界情勢や経済情勢を知ってほしいと考えてみえると思いますので、若い社員の方に進めていただいて、ぜひ新聞を支えて頂きたいと思っております。

*出席委員会

会員数32名、本日の出席18名です。

*ニコボックス委員会

・会長・副会長・幹事

岐阜新聞 中濃総局長 長瀬勝巳様、卓話「新聞よもやま話」楽しみにしています。よろしくお願ひします。

・広瀬恒行君

持ち出し例会、欠席ばかりで申し訳ありません。

・小川糧司君

長瀬総局長様、今日はありがとうございます。卓話楽しみにしています。又、25日の田植体験事業に参加の皆さんご苦労さまでした。

18名のご投函ありがとうございました。

***幹事報告**

・田植体験事業について事業報告

<次例会の案内>

第1978回 2019年6月10日(月)

台北南隆RC・台湾景文高等学校 歓迎例会

場所 みの観光ホテル